

2016年5月30日 日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

< 発表 >

・ 映画「オオカミ少女と黒王子」公開

「オオカミ少女と黒王子」が5月28日に公開された。ぜひ劇場でご覧いただきたい。公開2日間で既に19万人を動員しており、ヒットの予感がする。

1. 視聴率動向と編成戦略

・ 視聴率データ

先週は視聴率10週連続三冠王で、年間20回目、年度8回目の獲得だった。

・ 4月期の番組に関して

4月期を振り返ると、7daysTVや笑点50周年の放送等があり、それぞれのテーマで創意工夫を凝らし、良いものが展開できた。一方、ここ最近、各局のドラマでは視聴率に結びつかない傾向がある。そのような中でも水曜ドラマ「世界一難しい恋」は非常に評判も視聴率もいい。日曜ドラマ「ゆとりですがなにか」はHuluでよく見られているうえ、評判もいい。土曜ドラマ「お迎えデス。」も内容が良いので、ほかのドラマ同様、最終回に向けてさらにPRしていきたい。

2. 営業状況

・ 放送収入

4月の放送収入は前年を少し上回る状況で推移しており、5月も前年をやや上回る水準に落ち着くと思っている。

・ 放送外収入

映画「オオカミ少女と黒王子」が先週土曜日から公開されており好調。また、「名探偵コナン 20 純黒の悪夢」は44日間で、すでに461万人の観客動員が実現している。これまで20作のコナンシリーズで最もヒットした作品になった。また、「ちはやふる 上の句」「下の句」も非常に好調に推移している。

「ボストン美術館所蔵 俺たちの国芳 わたしの国貞」は、6月5日が最終日で、目標である20万人の観客動員まであとわずか。実現できると思う。

3. その他

・「笑点」司会者交代やメンバーに関して

桂歌丸さんは、メンバーとして、また司会者として笑点50年の歴史を当初より支え、盛り上げ、ここまで素晴らしい番組に成長させてくださった。その功績に対して、心から敬意を表し御礼を申し上げる。

新司会者の春風亭昇太さんは非常に柔軟性があり、どんな回答にも対応できる素晴らしい方だと伺っている。初回放送を見たが、小気味のいい素晴らしい司会ぶりだった。番組をさらに盛り上げてくれると期待している。

新メンバー、林家三平さんは、とても明るく朗らかで親しみやすい方だと改めて感じた。三平さんの加入で、番組のカラーが一層豊かになると思う。今後の活躍を期待している。

また、24時間テレビのチャリティマラソンランナーに決定した林家たい平さんについては、素晴らしい方にランナーを務めてもらうことができ、本当に嬉しく思っている。十分体調を整え、万全の準備をして臨んでいただきたい。

・ドラゴンクエスト ライブスペクタクルツアーに関して

いくつかの地方で追加公演が決定した。ショーの構成等は順調に進んでおり、今後ストーリーや映像も番組などでご紹介していく。さらに多くの方に見ていただけるように努力したい。

・動画配信事業の今後

動画配信事業に多くの事業者が参入したことで、市場もさらに活性化すると期待している。そのような環境で、私たちがすべきことはHuluをきちんと成長させるということに尽きると思っている。Huluの黒字転換の目標をもう1年先送りするという発表は、現段階ではコンテンツを強化し、より多くの方に知ってもらうための宣伝費用を予算計上する先行投資の時期だという判断に立ったからだ。まずは自らの事業の商品、コンテンツの品質を高め、できるだけ多くのユーザーに支持してもらえるような事業にしていこうということを最優先で考えていきたい。

また、熊本地震の報道については、日本テレビもインターネット同時配信をした。大きな自然災害等が発生するなど、報道機関として国民に対する責任として放送以外でも、情報を伝える必要がある場合は、これからもニュースの同時再送信をすることはある。ただ、地上波のすべての番組をネット配信することは今の時点では考えていない。

・NHKの同時再送信にかかる動きに関して

昨年からNHKが取り組んでいる同時再送信に関しては、民放連が見解を出している。
NHKはNHKの法律で定められた業務の中でやるべきであり、NHKの肥大化や民業圧迫がないよう、節度あるやり方をしてもらいたい。

【出席者】

大久保好男	代表取締役	社長執行役員
小杉 善信	取締役	専務執行役員
丸山 公夫	取締役	専務執行役員

(了)